

日時：平成 26 年 9 月 2 日（火）19：00～21：00

場所：アバンセ 研修室にて（佐賀県佐賀市天神 3-2-11）

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、松雪、中倉、川辺、原、藤原、佐藤、寺崎、村岡、田平、
本山、鶴田、石原、熊谷（17 名）

I. 報告事項

1. OT 協会関連

1) OT 協会・県士会合同役職者研修会への派遣

- ・期日：7 月 26 日・27 日 シダックスホール 2 倉富会長、山口副会長参加
- ・議題、内容
 - ・「直近の高齢者施策について」 厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 村井千賀
 - ・協会と士会との連携強化について（47 都道府県委員会（仮称））
 - ・地域ケア会議（大分県士会の活動報告）
 - ・グループワーク「人材育成について」

2) 介護予防市町村支援事業実施に関する研修会

- ・期日：8 月 9 日 東京 小池副会長参加

3) 女性会員の協会活動参画促進に関するアンケート

- ・女性会員の士会活動参画状況、士会の取り組みおよび女性会員の参画に関する士会役員考えについての調査

※会長より【地域ケア会議、地域包括ケアシステム、総合支援事業などに関する OT について】

厚労省はじめ国は、地域包括システムや地域ケア会議における自立支援や介護予防に関して、生活支援が必要であるとし、それらを担える職種として OT の名を挙げている。しかし実際に OT が生活支援を担う専門職として実践できるのか、問われてくる。シビアに考えないといけない問題となっている。

また、地域包括支援センターへの参入、地域ケア会議に助言者として生活支援を視点に助言できる人材の育成など課題は多い。包括支援センター参入に関しては、県内会員に対して、希望があるのかなど含め状況をアンケートなどで確認していく。地域ケア会議に関しては、PT 協会では各県士会で研修会を開催し、受講した会員をケア会議の助言者として認定する形として積極的に動いている。OT 士会でも地域ケア会議に関する研修会を年内には行う。

2. 九州地区作業療法士関連

1) 臨床実習指導者養成研修（九州県士会長主催研修会に置き換える）

- ・H26 年 10 月 18 日（土）～19 日（日）九州栄養福祉大学・小倉南区キャンパス
- ・2 名を各県士会から推薦（内 1 名の旅費は九州士会長会、1 名を県士会から負担）
- ・参加要件：初級修了者。

現職者研修「作業療法における協業・後輩育成」・「職業倫理」受講済みを初級修了者とみなす。

3. 県士会関連

1) 佐賀県精神障害者スポーツ大会（バレーボール大会）

- ・9 月 28 日 佐賀市総合体育館で実施予定
- ・九州地区大会 平成 27 年 4 月 25 日（土）佐賀県総合体育館で開催
- 8 月 29 日 第 1 回実行委員会

出席者：坂井一也氏（委員長）、倉富会長、小松 OTR、山口勝氏（佐賀県障害者スポーツ協会事務局長）、
オブザーバー：山田博則係長・王丸京子主査（佐賀県文化・スポーツ部スポーツ課）

→九州地区大会の開催に向けては、県士会への協力依頼あり。

2) 佐賀県在宅生活サポートセンター

①テクノエイド協会 介護ロボット普及啓発事業へ応募 ⇒ 昨年に引き続き、応募予定

②介護の日事業

・10月11日(土) 10:00~15:30 会場:佐賀県在宅生活サポートセンター。

③シーティング研修会

・10月12日(日) 10:00~16:00 会場:佐賀県在宅生活サポートセンター

④8月27日(水) 介護福祉士会との顔合わせ

・介護福祉士会:大谷久也会長、野田喜則副会長、川浪直子副会長、松尾貴子事務局長、内島久子事務次長、石井大輔(西部ブロック長)

・作業療法士会:倉富、川辺、江渡、佐藤、熊谷、寺崎

・内容:・在宅生活サポートセンターのH25年度の事業報告・決算報告、H26年度の事業計画

・在宅生活サポートセンターから発生する税金対策

・今後も両団体で連携して在宅生活サポートセンターの管理運営を実施することを確認

⑤9月16日(火)佐賀県監査委員会からの監査 事前提出資料を9月1日 長寿社会課へ提出

3) 地域ケア会議推進に係る研修会(佐賀県長寿社会課主催)

・8月29日(金)倉富会長、小池副会長、熊谷が参加

4) がんリハ研修会

・開催日:10月4日(土)・5日(日) 会場:佐賀大学看護学科講堂にて

第2回目の実行委員会 9月10日(水)19時~20時 倉富会長出席予定

5) 佐賀リハビリテーション研究会

・11月8日(土) 佐賀大学医学部大講堂

・入門講座で生活行為向上マネジメントについて講義を行う(倉富会長)

II. 協議事項

1. 県士会関連

1) 合同学会

・月1回のペースで準備委員会を開催。最終的な詰めの段階で各部局会も併せて開催

・学会誌の印刷 26,000部

・学会の前日から当日の運営について協議が中心

2) 臨床実習指導者養成研修

・現職者2名の推薦者(身障・精神分野各1名。理事で協議してきた会員に打診する)

身障分野:山崎 OTR(ひらまつ病院) 精神分野:中尾 OTR(園田病院)

3) 在宅生活サポートセンターの支援

・生活行為向上マネジメント 3回分(11/12、12/10、1/14 すべて水曜)今後調整していく。

・介護の日 10月11日(土)午後「車いすシーティング」講師:山崎泰広先生

・シーティング研修 10月12日

・自具具工房 3回 → 西九州大学 植田 OTR へ依頼

4) 地域ケア会議エキスパート育成及び市町村担当窓口 OTR 配置

・地域ケア会議の助言者の育成、また各市町村の窓口の担当を配置するため、既存の4地区(佐城、東西松浦、杵藤、鳥栖三神)で班長から班員まで選定し、次年度に向け準備していく。各地区で人選を。

・今後は、平成27年度の地域ケア会議の法定化に向けて、県士会理事運営委員および会員に向けて、「地域ケア会議研修会」を今年中(12月頃予定)に行う。

Ⅲ. 各部局からの報告

1) 教育部（中倉教育部長より報告）

- ・現職者選択研修について
発達領域、9月21日（日）、西九州大学にて開催。現在9名の申込み。
精神領域、10月19日（日）、相知交流文化センターにて開催。
- ・現職者共通研修について
11月16日（日）にメイトプラザにて4講座開催予定。
- ・10/4、5で全国生涯教育委員会会議に中倉教育部長が参加。

2) 事務局（川辺事務局より報告）

- ・会員数は455名（9/2現在）。

3) 財務部（原財務部長より報告）

- ・財務管理について
会計ソフトに関して会計事務所と相談、「大蔵大臣」の会計ソフトを施行して良ければ決定する。
- ・今年度より年会費は1万円になっているが、5000円で振込んでいるケースがある。対策として県士会 HP に会費について掲載を行う。

4) 広報部（藤原広報部長より報告）

一般向けの広報誌作成中。

5) 事業部（寺崎事業部長より報告）

- ・高校生作業療法体験について9高校30名の高校生がOT体験・見学終了。冬休みにも実施していく予定。
- ・OTフェスタ：さがゆめタウン（イーストコート）で開催。日程：11/9（日）
8月31日に事業部にて会議を実施。協力スタッフ依頼文書発送済み。また、今年度は11月8日（土）のフェスタ前日に全体会議を実施予定。

6) 福利部（村岡福利部長より報告）

- ・OTフェスタ参加者のTシャツ購入を取りまとめ、発注していく。

7) 佐城地区（野崎地区担当部長欠席により紙面で報告）

- ・第16回佐賀県作業療法学会について
資料にて県学会の予算案を提出、承認依頼。

⇒承認

8) 杵藤地区（鶴田地区担当部長より報告）

- ・第15回佐賀県作業療法学会の決算報告、財務に提出。

9) 在宅サポートセンター運営委員会（石原委員長より報告）

- ・テクノエイド協会の介護ロボット普及啓発事業へ応募。
- ・9月に県の監査があるため、それに向け準備中。

10) 機関紙編集委員会（藤原広報部長より代理報告）

- ・第4巻の編集中
- ・編集部員2名を追加。千綿 OTR、田中 OTR（ともに白石共立病院）

11) 生活行為向上マネジメント推進委員会（小池副会長より報告）

- ・8月24日（日）メイトプラザにて老健に勤務するOTを対象とした研修会開催。
参加者13名。MTDLPマニュアルを5名の参加者が購入した。

12) その他

- ・エキスパート研修について

◇シーティング研修：8月9日・10日開催、参加者54名。